

出前環境教育

「環境市民ネットワーク天理」は、天理市内の小中学校等から依頼を受け、児童・生徒に対する「出前環境教育」を授業の一環として実施している。特に、学校近くの河川に入っておこなう生き物調査など、自然とふれあい、自然のしくみを学ぶ学習は、適宜無料で受け付けるとともに、環境（自然）教育の一環として、講演や観察会、野外調査を児童・生徒と一緒におこなうこともある。

2011年、天理市立柳本小学校から依頼を受け、野外調査ということで10月20日には川波太理事を派遣した。小学校の近くを流れる西門川へ5年生50名と一緒に出かけ（下写真）、川の内外に生息・生育する生きものを児童と一緒に調べた。そして、12月15日には同理事が教室で調査結果に基づいて講義をした。その時は4、5年生合わせて80名が参加した。

また、布留川に生息する水生生物に関して、天理市内の小・中学校の児童・生徒に身近な生き物の生態などを教える先生たちと一緒に、観察会をおこなったり、場合によっては講習会や講演会を実施し、身近な水生生物と水域環境との関係性についての情報交換もおこなっている。



生きもの調査をする市立柳本小学校の児童たち（2011年10月20日）。